

## ★「職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請」

厚労省は平成29年の労働災害による死亡者数が前年対比で増加、特に8月に急増したことを受け、労働災害防止団体などに職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請を行った。要請内容は次の通り。

- ① 産業界全体に対する企業の安全衛生活動の総点検などの要請
- ② 死亡者数が増加している業種(建設業、陸上貨物運送事業、林業、製造業)の取組のポイントを明示

## ＜取り組みのポイント＞

## [建設業]

- ・労働者の立ち入り制限や誘導員の配置など、車両系建設機械などとの接触防止対策の実施
- ・高所作業における作業床の設置、安全帯の着実な使用などの墜落・転落防止対策の実施

## [陸上貨物運送事業]

- ・「荷役5大災害防止対策チェックリスト」を活用した荷役作業での安全対策の実施
- ・「交通労働災害防止のためのガイドライン」に基づく対策の実施

## [林業]

- ・「チェーンソーによる伐採等作業の安全に関するガイドライン」

## [製造業]

- ・リスクアセスメントや機能安全による機械設備の安全対策の実施
- ・高経年設備に対する優先順位を付けた点検・補修などの実施

## ★「パート改善 4割が実施」

5人以上の従業員がいる事業所を対象に厚労省が調査したところ、平成27年4月の改正パートタイム労働法施行を機に処遇などの改善措置を実施したのは39%。

実施した改善措置は、「パート相談窓口を整備し、雇入れ時に労働条件通知書で明示した」が44%で最も多く、次いで「賃金など処遇を(正社員との均等・均衡を考慮して)見直した」が31%。

## ★「京葉銀行イクボス宣言」

今年「プラチナくるみん」を取得した京葉銀行は、職場で仕事と家庭生活の両立を支援する上司「イクボス」を育てようと、イクボス宣言を行いました。

宣言書は「職員が一人一人の個性や多様性に理解を示し、自らも新しい時代の理想の管理者として、仕事と私生活を楽しみながら組織目標を達成に導くイクボスを目指します」です。イクボス宣言により、より働きやすい企業になると期待しています。

ちなみに、現在までに千葉県で「プラチナくるみん」を取得しているのは、ヒゲタ醤油(株)、イオン(株)、(労)ハーモニー、ちばぎん証券(株)、(株)千葉銀行、(株)京葉銀行の6社のみとなっています。

## ★「県内11金融機関と連携」

千葉労働局は「働き方改革の推進」に向け、千葉県内に本店を置く11金融機関と包括連携協定を結んだ。主に雇用関係の助成金制度や労働環境の改善に向けた支援の幅を広げる。

具体的には、千葉銀行など地銀3行と8つの信用金庫・信用組合と協定を結ぶ。協定書にはワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進の他、企業の労働生産性を高めるための取り組みなど7項目を明記。

労働局では労働生産性を向上させた企業に対する助成制度を設けており、金融機関は事業の成長性についての審査に精通しているため、助成金の審査を一部手助けすることも想定している。

